確率変数分析

Naoko Ishibashi

2025-02-02

```
## — Attaching core tidyverse packages -
                                                           —— tidyverse 2.0.0 —
## ✓ dplvr 1.1.4
                        ✓ readr
## / forcats 1.0.0
                                    1.5.1

✓ stringr

## ✓ ggplot2 3.5.1

✓ tibble

                                    3.2.1
## ## lubridate 1.9.3

✓ tidyr

                                    1.3.1
## ✓ purrr
             1.0.2
## — Conflicts —
                                                       — tidyverse_conflicts() —
## * dplyr::filter() masks stats::filter()
## x dplyr::lag()
                  masks stats::lag()
## i Use the conflicted package (<http://conflicted.r-lib.org/>) to force all conflic
ts to become errors
```

```
library(readxl)
library(dplyr)

setwd("~/Dropbox/DATA310/Data")
Ohio2016 <- read_excel("Ohio2016.xlsx")</pre>
```

質問 1 サンプリング分布とは何か、自分の言葉で説明してください。 サンプリング分布がどのようなものか、選んだ変数を使って例を挙げて説明してください。 (何かを構築する必要はありません。 自分の友達が概念の本質を理解できるように説明するために、必要なだけ文章を書いてください。)

答え サンプリング分布は、多くのサンプル分布の平均を集めて確率を作り出します。 そのため、サンプリング分布は、すべてのデータを集めることなく、母集団分布に非常に近い確率を作ることができます。

例えば、私は10,000人のティーンエイジャーの平均スマートフォン使用時間を調べたいと思います。 しかし、10万人のサンプルを集めるのは難しいかもしれません。 代わりに、100人ずつのサンプルをたくさん集めて、サンプル分布の平均を計算します。 その後、複数のサンプル分布の平均の合計を計算します。 このようにして、母集団の近似平均サンプルに近づけることができます。

質問 2.1 もしあなたが上司に、調査データを扱うためには十分な予算が必要だという重要性を理解してもらう 任務を与えられたとしましょう。 (多くの人々をサンプリングするにはお金がかかります!) あなたのオフィス は、回答者に特定の公共政策に対する感情を0~100のスケールで評価してもらう調査を実施します。 そのと き、r.v.の期待値が76で、分散が35であることがわかっています。 中心極限定理を適用し、Rを使って以下の質 問に答えて、上司にその重要性を伝えてください:

• ランダムに選んだ50の観測値で、平均が73と78の間にある確率はどのくらいですか? (ヒント: pnorm()を 使用する必要があります)

平均の標準誤差 sem <- sqrt(35)/sqrt(50) # 0.83666

*曲線の下で*78*未満の面積* pnorm(78, 76, sem) # *0.9915863*

[1] 0.9915863

曲線の下で73未満の面積 pnorm(73, 76, sem) # 0.0001680968

[1] 0.0001680968

ランダムに選んだ50の観測値で、平均が73と78の間にある確率 pnorm(78, 76, sem) - pnorm(73, 76, sem) # 0.9914182

[1] 0.9914182

答え(質問 2.1) 99.1%

質問 2.2・ランダムに選んだ75の観測値から平均の対称的な99%信頼区間を求めなさい。 (ヒント: qnorm()を使用する必要があります)

75の観測値の平均。

100 - 99 # 1

[1] 1

1/2 # 0.5

[1] 0.5

0.99 + 0.005

[1] **0.**995

上限を求める qnorm(0.995, 75, sem) # 上限 # 77.15509

[1] 77.15509

下限を求める qnorm((1-0.995), 75, sem) # 下限 # 72.84491

[1] 72.84491

答え(質問 2.2) サンプルの平均は72.8から77.2の間に99%含まれます

質問 2.3・サンプル平均が75.5と76.5の間に95%の確率で収まるためには、サンプルサイズはどれくらい必要か?(ヒント:qnorm関数を使用する必要があります)

2.6標準単位 qnorm(.995, mean=0, sd=1) # 2.575829 # 2.6

[1] 2.575829

- # 平均から約0.5 (75.5 76.5) の値は2.6標準単位離れている
- # 2.6*se = 0.5
- # 標準誤差を求める
- # z = (興味のある点 平均)/ SE.
- # 2.6 = (P0I 76)/SE
- # 2.6 = 0.5/SE
- # se = 0.5/2.6
- 0.5/2.6 # 0.1923077 # 0.19

[1] 0.1923077

se = 0.19

- # 標準誤差の公式を使用してnを求める
- # se = sqrt(var)/sqrt(n)
- # nを求める
- $\# n = (sqrt(var)/se)^2$
- $n \leftarrow (sqrt(35)/(0.5/qnorm(.995)))^2$
- # *これを確認して精度をチェック!* qnorm(0.995, mean=76, sd=sqrt(35)/sqrt(n)) # *完璧!*

[1] 76.5

gnorm((1-0.995), mean=76, sd=sqrt(35)/sqrt(n)) # かなり近い!!

[1] 75.5

答え(質問 2.3) n = 928.885 サンプルサイズ そして、99%のデータは75.5と76.5の間に収まります

質問 2.4・上記の計算を基に、もっと多くの人を調査するために少しお金をかけることがオフィスにとってどのように役立つか、短い段落で上司に説明してください。

答え(質問 2.4) このプロジェクトで、もう少しお金を使ってもっと多くの人に調査をしてもらうことを提案します。なぜなら、データが増えれば、サンプルがもっと正確になり、人々の本当の気持ちに近づけるからです。これにより、より良い公共政策を作ることができます。私の計算では、100%の精度を目指しましたが、今のサンプルサイズでは99.1%の精度しか得られません。この0.8%の違いが、公共政策に対する人々の気持ちを誤解する原因になる可能性があります。だから、もっと多くの人を調査するために少しお金をかけることを強くお勧めします。

質問 3.1 選挙予測を行う際、私たちは選挙区のサンプルデータを集め、それを元に州全体の投票結果を予測します。 ここでは、2016年のオハイオ州大統領選挙のデータを使って簡単な例を行います。 Canvasに「Ohio2016.xlsx」というデータセットがあります。 このデータセットには、オハイオ州の選挙区ごとのトランプ、クリントン、その他の候補者への投票数が含まれています。

・このデータセットをRに読み込む(私はreadxlライブラリのread_excel()関数を使用しました)。 そして、選挙区におけるトランプの投票数をその選挙区の総投票数で割った変数を作成します。 この変数のヒストグラムをプロットします。 この変数の確率密度関数 (pdf) は正規分布でうまく近似できるでしょうか?

```
setwd("~/Dropbox/DATA310/Data")
Ohio2016 <- read_excel("Ohio2016.xlsx")</pre>
```

head(0hio2016)

```
## # A tibble: 6 × 9
##
     County Precinct
                           Region MediaMarket Registered Ballots Clinton Trump Other
                                                                      <dbl> <dbl> <dbl>
     <chr> <chr>
                           <chr> <chr>
                                                     <dbl>
                                                             <dbl>
##
## 1 Adams BRATTON TOWN... South... Cincinnati
                                                       923
                                                               661
                                                                         96
                                                                              532
                                                                                      20
## 2 Adams BRUSH CREEK ... South... Cincinnati
                                                       768
                                                               514
                                                                         95
                                                                              390
                                                                                      14
## 3 Adams LOCUST GROVE South... Cincinnati
                                                       684
                                                               522
                                                                         94
                                                                              408
                                                                                      11
                                                                         76
## 4 Adams GREEN TOWNSH... South... Cincinnati
                                                       409
                                                               259
                                                                                      5
                                                                              176
## 5 Adams JEFFERSON TO... South... Cincinnati
                                                                              258
                                                       537
                                                               351
                                                                         73
                                                                                      11
## 6 Adams LIBERTY SOUTH South... Cincinnati
                                                       729
                                                               511
                                                                         87
                                                                              394
                                                                                      19
```

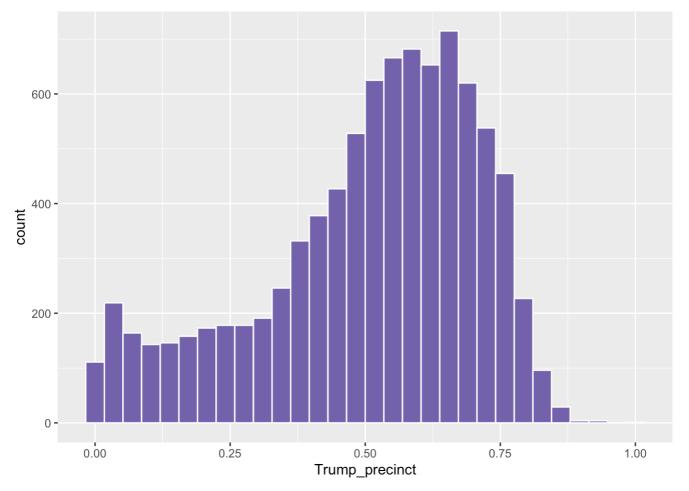
colnames (Ohio2016)

```
## [1] "County" "Precinct" "Region" "MediaMarket" "Registered"
## [6] "Ballots" "Clinton" "Trump" "Other"
```

選挙区のトランプの投票数をその選挙区の総投票数で割った変数を作成します。 Trump_precinct <- Ohio2016\$Trump/Ohio2016\$Ballots

ヒストグラムを使ってデータをより良く理解します
ggplot(data = Ohio2016)+
geom_histogram(aes(x=Trump_precinct),fill = "#7463AC", color = "white")

`stat_bin()` using `bins = 30`. Pick better value with `binwidth`.



この変数の確率密度関数 (pdf) は正規分布でうまく近似できるでしょうか? 答え (質問 3.1) いいえ、このヒストグラムは正規分布のベル型になっていないため、正規分布でうまく近似できません。

• トランプの投票シェアの母集団平均と分散を計算してください。

母集団平均 # 319.681 mean(Ohio2016\$Trump)

[1] 319.681

- # 質問 3.3
- # 選挙当日にランダムに選んだ40の投票所からトランプの投票シェアをサンプリングし、それらの平均を取ったとします。
- # 母集団平均と分散、中央極限定理を用いて、この統計量の99パーセント信頼区間を予測してください。
- # (ヒント:qnorm関数を使用する必要があります)

set.seed(500)

- # 40のランダムに選ばれたサンプル
- # sample n() 関数を使ってランダムに行をサンプリングできます

Trump.sample <- sample_n(Ohio2016,size = 40, replace = TRUE)</pre>

head(Trump.sample)

```
## # A tibble: 6 × 9
##
     County
              Precinct
                           Region MediaMarket Registered Ballots Clinton Trump Other
##
     <chr>
                           <chr> <chr>
                                                            <dbl>
                                                                     <dbl> <dbl> <dbl>
              <chr>
                                                    <dbl>
## 1 Lucas
              TOLEDO 20C North... Toledo
                                                     1235
                                                               649
                                                                       419
                                                                             194
                                                                                     26
## 2 Hamilton ANDERSON FF South... Cincinnati
                                                     1218
                                                               940
                                                                       385
                                                                             484
                                                                                     40
              PRECINCT C... West
                                                               374
                                                                       141
                                                                             204
                                                                                     20
## 3 Clark
                                  Dayton
                                                      615
## 4 Lorain
              PRECINCT L... North... Cleveland
                                                     1126
                                                               770
                                                                       443
                                                                             281
                                                                                     34
                                                     1277
## 5 Cuyahoga STRONGSVIL... North... Cleveland
                                                             1002
                                                                       392
                                                                             555
                                                                                     34
## 6 Clermont PIERCE TOW... South... Cincinnati
                                                               555
                                                                                     25
                                                      863
                                                                       155
                                                                             361
```

dim(Trump.sample)

[1] 40 9

サンプリング分布の平均

mean.1 <- mean(Trump.sample\$Trump)</pre>

母集団の平均と比較

mean(0hio2016\$Trump)

[1] 319.681

- # 平均の標準誤差 (SEM) の公式は簡単です!
- # SD / √(サンプルサイズ)
- sem.2<- sqrt(variance)/sqrt(40)</pre>

sem₂

[1] 2.057509

100 - 99 # 1

[1] 1

1/2 # 0.5

[1] 0.5

0.99 + 0.005

[1] 0.995

上限を求めるためにqnormを使用します: qnorm(0.995, mean.1, sem.2) # 上限 # 324.7998

[1] 324.7998

次に下限を求めます: qnorm((1-0.995), mean.1, sem.2) # 下限 # 314.2002

[1] 314.2002

答え(質問 3.3) 99%のサンプル平均は314.2から324.8の間にあります

質問 3.4

• 80 または120 の投票所がサンプリングされた場合、99 パーセント信頼区間の上限と下限を計算してください。

80の場合

sem.80 <- sqrt(variance)/sqrt(80)</pre>

.99 + .005

[1] 0.995

上限をqnormで求めます: qnorm(0.995, mean = mean(Ohio2016\$Trump), sd = sem.80) # 上限

[1] 323.4285

次に下限を求めます: qnorm((1-0.995), mean = mean(0hio2016\$Trump), sd = sem.80) # 下限

[1] 315.9335

```
# 答え #########
```

サンプル平均の99%は165.6から173.1の間にあります

####################

120の場合

sem.120 <- sqrt(variance)/sqrt(120)</pre>

.99 + .005

[1] 0.995

上限をqnormで求めます:

qnorm(0.995, mean = mean(0hio2016\$Trump), sd = sem.120) # 上限

[1] 322.7408

次に下限を求めます:

qnorm((1-0.995), mean = mean(0hio2016\$Trump), sd = sem.120) # 下限

[1] 316.6212

答え(質問 3.4) サンプル平均の99%は166.3から172.4の間にあります

- # 問題 3.5
- # Excelシートの変数の1つに、各投票所が位置するオハイオ州の地域があります。
- # 各地域の投票所の割合を計算してください。

head(Ohio2016)

##	#	# A tibble: 6 × 9								
##		County	Precinct	Region	${\tt MediaMarket}$	Registered	Ballots	Clinton	Trump	Other
##		<chr></chr>	<chr></chr>	<chr></chr>	<chr></chr>	<dbl></dbl>	<dbl></dbl>	<dbl></dbl>	<dbl></dbl>	<dbl></dbl>
##	1	Adams	BRATTON TOWN	South	Cincinnati	923	661	96	532	20
##	2	Adams	BRUSH CREEK	South	Cincinnati	768	514	95	390	14
##	3	Adams	LOCUST GROVE	South	Cincinnati	684	522	94	408	11
##	4	Adams	GREEN TOWNSH	South	Cincinnati	409	259	76	176	5
##	5	Adams	JEFFERSON TO	South	Cincinnati	537	351	73	258	11
##	6	Adams	LIBERTY SOUTH	South	Cincinnati	729	511	87	394	19

colnames (Ohio2016)

## [1] "County"	"Precinct"	"Region"	"MediaMarket" "Registered"
## [6] "Ballots"	"Clinton"	"Trump"	"Other"

```
# 結果を確認する
# (値 / 総値) × 100%
# BRATTON TOWNSHIP Southwest Cincinnati 923 661 96 532
20 0.000759
923/sum(Ohio2016$Registered[Ohio2016$Region == "Southwest"])
```

[1] **0.0007588707**

```
# 各地域ごとの登録者数の割合を計算
Ohio2016 %>%
group_by(Region) %>%
select(Precinct, Registered, Region) %>%
mutate(percent = Registered / sum(Registered) * 100) # 割合を計算して追加
```

```
## # A tibble: 8,887 × 4
            Region [6]
## # Groups:
##
     Precinct
                                Registered Region
                                                    percent
##
     <chr>
                                    <dbl> <chr>
                                                      <dbl>
## 1 BRATTON TOWNSHIP
                                      923 Southwest 0.0759
## 2 BRUSH CREEK TOWNSHIP
                                      768 Southwest 0.0631
## 3 LOCUST GROVE
                                      684 Southwest 0.0562
## 4 GREEN TOWNSHIP
                                      409 Southwest 0.0336
## 5 JEFFERSON TOWNSHIP
                                      537 Southwest 0.0442
## 6 LIBERTY SOUTH
                                     729 Southwest 0.0599
## 7 MANCHESTER UNITED TOWNSHIP
                                     1163 Southwest 0.0956
## 8 MEIGS TOWNSHIP
                                     1209 Southwest 0.0994
## 9 PEEBLES EAST
                                      550 Southwest 0.0452
## 10 PEEBLES WEST
                                     554 Southwest 0.0455
## # i 8,877 more rows
```